

1996. 7. 7 No. 59



とシュデラパン
会をつなぐ手



現地訪問は、7月20日出発します 旅費カンパをよろしくお願ひします

今年も現地訪問が七月二十日から始まります。
代表の大木さん、ラフマンさん、二ノ坂さんの常連に、昨年から加わった高橋さん、それに今年初めて参加の、外池さん、左川さん、水上さん、大黒さんの八人の訪問団です。

今年の現地訪問は多くの課題を抱えています。カラムデイ村では母子保健センターが大いに役に立っていますが、センターを充実するために医師や看護婦などのスタッフや設備を拡大したいという村人の希望に対して、日本側では経済的な面や今後の協力のあり方を考え、物質的な援助を減らしていきたいと考えています。このあたりは今回十分に話し合ってくる必要がありますでしょう。

その他にも、学校教育の更なる普及と内容の充実、ペンフレンドによる日本の子供たちとの交流などの教育面、またシヨンダニが取り組もうとしている、生活改善のための事業について、また村人や子供たちの保健衛生面での状況の調査など多くの課題を抱えての現地訪問となります。

このような現地訪問も、会員の皆さんや協力していただく皆さんのお力で支えられています。今年の現地訪問に際しましても、どうぞご意見と旅費カンパへのご協力をよろしくお願ひいたします。

96年 現地訪問 メンバー



今年8人で
出発します。
東京帰りで、つい
英語がでて
しまいそうよ。
それでは
See You!
林



今回もにぎやかな
メンバーです。
村に行くまで、私が
キャプテンで
がんばります。
大木さん、ちゃんど
ついてきて下さいよ。
ラフマン

別に私は怒って
いませんよ。
でも、みんなが似ている
と言います。
今年、体調も
バツリです。
がんばって行きます。
二ノ坂



京都から参加
します。バングラの
子どもたちにぜひ
京都弁を教え
たいですね。
あかんかなー?
水上



シトルから参加
します。他の参加者
の通訳もしたいと
いけません。
大変です。
子どもたちに早く
会いたいです。
下島

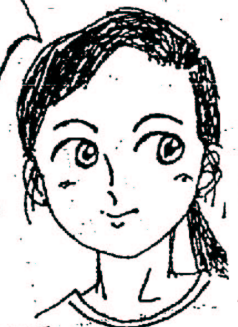


私はバングラ語は
まだまだですが
英語なら……
まかせて下さい。
私が女の子のリーダー
として、大木さんを
支えます。
外池

今年、どへ行けるかが
決まらうれしいです。
二ノ坂先生のお話を
聞いていきます。
(喜んで……?)
ファイト
いいます。
左川



ゼレツジドクター・バングラ
の看護婦、子どもたち
に早く会いたいです。
彼らとどんな話し
ができるか楽しみです。
行ってきます。
高橋かおり



行ってきまーす！出発にあたって～私の思い

今回、私によっては2回目の訪問となります。去年の現地で書き綴った日記を読んでいると、はっきりと一つ一つのことが思い出されます。白血病でぐったりとした子供の表情、足に傷を負い、炎症がひどくなった女の子の、涙をうるませた熱い瞳、夜間学級で子供と混じって字を習うお父さん、将来は医者になりたいと希望に満ちた少年、そしてピレッジドクターMr. アザドの一言、「目標は病気を治すことではなく、病気がなくなること」

村人たちは、前を向いて懸命です。私も、村人のみつめる、同じものを目指して、この訪問の日々を過ごしてこようと思っています。

会員の皆さん、今年の村人たちがどうであるか、子供たちがどうしているか、母子保健センターで生まれた赤ちゃんがどう成長しているか、報告を楽しみにしててください。

それでは、行ってきまーす。 (高橋かおり)



目 程

7月20日(土) 12:00pm シンガポール航空989便にて、福岡空港から出発

7月21日(日) 午前 日本大使館訪問
午後 カラムディ村入り

7月22日(月) 午前 オリエンテーション
午後 教育班、医療班に分かれて活動開始

8月 2日(金) カラムディ村からダッカ入り

8月 4日(日) ダッカ出発 シンガポール経由で帰路へ

8月 5日(月) 8:00am シンガポール航空990便にて、福岡空港到着

現地訪問をされる皆さんにお願い

「母子保健センター」の完成はカラムディ村の医療面での活動を一段と活発にしているとの報告を得て本当に喜ばしく思っています。

さて教育の面では念願の学校建設を果たして以来、ここで学習する子供たちの輝く瞳、明るい笑顔、写真が送られて来る度に嬉しく思うのですが、粗末な長机にバンコ（背もたれなしの長椅子）で肩を押し合うようにして6～7人の子供たちが座っているのを見る時、書くことも読むことも思うようにできないのではないかと心配になってしまいます。

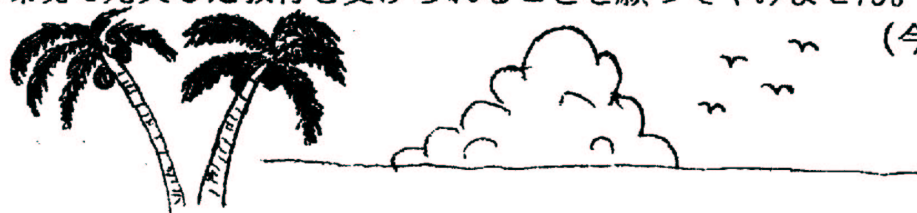
村の人々にとって、特に子供たちにとって今、最も大切なことは何なのか。経済援助の方も少し赤字になっているということですが、最も必要とすることは、急がなければならないことはどういうことであるか、見て来て欲しいと思いますし、多くの村人ともよく話し合っ来て欲しいものと思います。

学校の施設・設備は？ 教材道具は？ 教育内容（カリキュラム）そして指導方法等々です。問題はたくさんあるでしょう。

まずは〇〇を〇〇する、次に必要なことは、そして更に…へと、援助が村人にとって最も意義ある活動へと発展することを願います。

そのあたりを村人ともよく話し合ってみてください。子供たちが少しでもよい環境で充実した教育を受けられることを願ってやみません。

（今給黎 靖子）



事務所の備品整備にご協力ありがとうございます

事務所の移転に伴って、いろんな備品をご寄付いただきました。おかげで、やや古い建物ですが、快適な事務所となりつつあります。

松村正則さん 本立て

丸木陽子さん 掃除機、食器だな、ストーブ

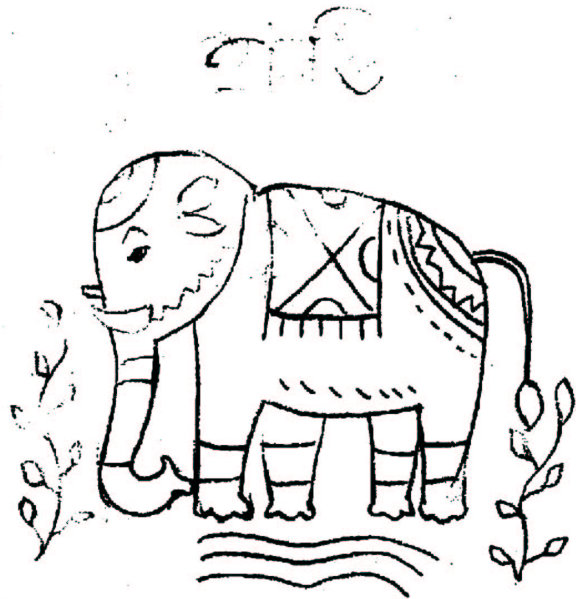
今村和彦さん 冷蔵庫

今後ともよろしく会の活動をご支援ください。

また、8ページの予定にそって事務所でいろんな会合をおこなっています。お時間がありましたら、どうぞのそいで見てください。

カラムディ村だより

バングラデシュの政治的混乱がやっと収まりました。2年間にわたって、野党と与党の対立が続き、国の経済的な状況や国民の一般生活がまひ状態になっていました。中立政権のもとで5月12日に総選挙が行われ、民主主義的基盤が定着しようとしています。どの党も過半数を獲得できませんでしたが、与党が第一野党になり、野党だったアワミ連盟(バングラデシュ独立運動の先頭に立った党)が連立政権を作りました。この選挙は国内や諸外国からも高い評価を受けました。政治が安定すれば、経済も安定するし、人々の生活もよくなるでしょう。



さて、カラムディ村では……… 中央の影響が全くないわけではありません。村人も政治に非常に関心を持ち、与党の議員はやっぱり負け。その代わりに、普通の家庭の一人の若者が立候補し、かなりの差で勝ったようです。

政治運動が続いたときでも、ショングダニの仕事は普通どおり行われました。母子保健センターを有効に使うために、1階の大きな部屋を診療所として使いやすく区切りました。また昨年、日本から送った機械の管理を充実させるために一つの部屋に冷房を設置し、心電計や錆びやすい機械をその部屋に集めました。冷房を見るのは、村人にとっては初めてのことでしょう。部屋には診療用のベッドも1台置きました。村のあるおじいさん(ショングダニの設立に大いに貢献した方)がそのベッドに横になり、「心電計で一番先に自分を診察してくれ」と言いました。医師はしかたなく、診察の真似をしたようです。(これは村人が、どんなに喜んでるかのエピソードとして伝えられました。)

実績の面では、母子保健センターで毎月、出産の数が増えています。5月には15人の赤ちゃんが生まれ、母親教室の参加者も増えています。もちろん一般の患者さんも増えています。医者一人、またレントゲン器械がないので、まだ村人の期待に十分答えきれていません。また、村の出産の内、何割が母子保健センターで生まれているのか、一般の患者のうちどれくらいがセンターに来ているのか、お金のない人はどうしているのか、といった質問の答えはまだわかりません。7月の現地訪問を通して、これらのことを十分に話し合いたいと思っています。

教育の向上を図るために、教員、生徒の保護者、学校の運営委員会それにショングダニと一緒に、定期的に会合を開き、長期欠席や中途退学防止に対する対策などをいろいろと検討しているようです。今年の現地訪問が楽しみです。

(ラフマン)

一貴山小、付属小で「開発教育」に協力

二丈町一貴山小では、一昨年に続いて6年生のクラスで「開発教育」を行いました。まず、自分たちで図書館などでバングラデシュのことを調べました。その後ラフマンさんを招いて、実際のバングラデシュのこと、村の暮らしのことなどを聞きました。そして自分たちにどんな事ができるのか、話し合いました。子供たちは「一貴山小・バングラデシュと手をつなぐ会」を作り、総会を開きました。

5月14日の総会のときには二ノ坂さんが招かれました。生徒たちは、カラムディ村への援助を、経済的、物質的なもので続けるのか、それとも村人の自立を助けるために、少しずつ援助を減らし、お互いの心を通じあわせるための協力活動へ持っていくのか、みんなで意見を交わしました。二ノ坂さんも、私たちの会でも同じ事が問題になっています、皆さんの意見はたいへん参考になります、と話しました。話し合いの結果、ほとんどの子供が、モノによる協力よりも、自立を手助けするための活動へ、ということでもとまりました。

5月23日には、地域教育の一貫としてそれまでの研究成果を、お母さん方や地域の人たちを招いて発表しました。その時二ノ坂さんがもう一度講演を行いました。一貴山小の地道な、そして子供たちが自分で考え、自分たちの暮らしに結び付けていく活動は、本当の「開発教育」といっていいでしょう。

一方、付属小学校では……



福岡教育大学付属小学校では植松先生が「国際協力」というテーマで授業を展開しました。5年2組の子供たちは自分たちでバングラデシュの資料を集め、整理し、知識を深めました。また現地のことを生の声で聞きたい、という要請があって、ラフマンさんが5月23日に参加しました。お母さんたちと子供たちは一緒にバングラ風のカレーを作り、みんなでおいしく食べました。食後、子供たちは自分に関心のあるところ、また知らないことをたくさん質問してきました。ラフマンさんもできるだけ答えました。また、校庭で、カバティ(バングラデシュのゲーム)もしました。

6月7日には、付属小学校で公開授業が行われました。全国から250名の先生たちが見学に来ました。5年2組に入りきれないほどの参加者でした。子供たちが主役で、司会をする子供の指示どおりに、2、3人の子供がバングラデシュの一般状況を説明してくれました。その後、バングラデシュの恵まれない子供たちのために物質的な援助をするべき、またそうではなく、心を送るべきか、という二つの意見に分かれました。興味深い議論が続きました。結局、相手のことを知り、友達になり、自然に相手の必要性を感じ、心のこもった贈り物をするとう結論に達しました。授業の進め方や子供たちの強い発言力に非常に感動しました。

御協力ありがとうございます。

1. 募金・旅費カンパ (個人以外の方) (敬称略)

丸二商会：10,000円、光洋産業(株)：100,000円

2. 新入会員紹介

西村 広子、津田 光昭、左川 弘子、衛藤 治代、堀 恵治、
牧田 松子、松田 祐子、林田 栄子、具島 兼三郎、外池 博子、
本多 至子、水上 優、矢野 芙美子

3. 事務局への備品寄贈者

こたつ (大木 松子)、スチール製本棚 (松村 正則)、食器 (曾根 和子)
食器棚・掃除機・暖房器具 (丸木 陽子)、時計・食器 (武藤 暁美)、
冷蔵庫・事務所の表札二つ (今村 和彦)、木製本棚、こたつ (野口 幸子)

●郵便局の「ボランティア貯金」よりの「募金」を申し込んでいましたが、今回は記分を受けられない事になりました。現地訪問も間近ですので、「会費の納入」、「旅費カンパ」、「募金」等、御協力よろしくお願い致します。(会計より)

それぞれの国のすばらしさ

東京へ行って一ヶ月半、さまざまのいい出会いがありました。特によかったのは帰り道に和歌山で参加した日韓教会女性の「交流・連帯プログラム」でした。

長い間の日本の支配、南北分断……。でも彼等たちの力強さ、明るさ、うたとおどりのすばらしさ。

それはバングラデシュの人たちの明るさ、強さと共通するものがあります。それぞれの国のすばらしさ……

たくさんの方の人たちと心からの友だちになりたい。きつとアメリカでもいい出会いがたくさんあるでしょう。

う。そして英語

かペラペラにな

れたら！

「シアトルだより」も

おたのしみに！

(大木松子)



バングラデシュと手をつなぐ会 お知らせとお願いコーナー

今後の主な予定は以下の通りです

月 日	時 間	内 容	場 所
7月11日(木)	19時から	運営委員会	事務所(西新)
7月13日(土)	14時か	NGO福岡ネットワーク定例会	アクロス3F 国際広場
7月20日(土)	10時	バングラデシュ訪問団出発	福岡空港国際線ロビー
8月5日(月)	8時	訪問団帰国	福岡空港国際線ロビー
8月8日(木)	19時から	集まり会	事務所(西新)
8月18日(日)	13時半から	帰国報告会	「あいれふ」
8月22日(木)	19時から	運営委員会	事務所(西新)
9月5日(木)	昼から夜	「ミロン」発送作業日	事務所(西新)
9月12日(木)	19時から	運営委員会	事務所(西新)
10月12日(土)	時間未定	カラムディ村からのお客様を 迎えて、交流会と帰国報告会	場所未定

運営委員会はどなたでもご参加できます。どうぞ事務所に遊びにお越しください

【お願いします】

- ・会では恒例の**バザー**を、今年も秋頃行う予定です。そこで、バザーに拠出し
てもいいというお品がございましたらご連絡下さい。(☎092-822-5795 留守
番電話になっていることが多いと思います。そのときはご連絡先をお告げ下さ
い) 運搬方法等ご相談差し上げたいと思います。皆様のご協力をお願いします。
- ・会では新しい事務所へ移って、次の物が必要です。もし譲ってもいいよと思っ
ていらっしゃる方、ぜひご連絡下さい。

コンピュータ、ワープロ、コピー、テレビ、ビデオ

よろしくお願ひします



バングラデシュと手をつなぐ会

〒814 福岡市早良区西新5-4-20

TEL&FAX092-822-5795

代表 大木 松子

郵便振込 01720-2-10442

加入者名 バングラデシュと手をつなぐ会